

# 箕輪町郷土博物館だより

令和8年 春号

## シュレーゲルアオガエル



春になって田んぼに水が入るととたんにカエルの鳴き声がいっせいに聞こえてきますね。みなさんはシュレーゲルアオガエルって知っていますか？4センチぐらいの小さな緑色をしたカエルです。アマガエルに似ていますがアマガエルにある目の前後の黒い模様はありません。指先に吸盤があって木登りが得意です。草地でも生活できるので広いはんにで見ることができます。鳴き声は「リリッ、リリッ、リリリリーッ」などと聞こえます。博物館に来ると実際の声を聞くことができますよ！

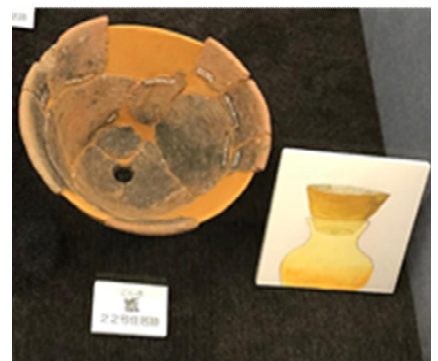


### みのわを知ろう

### <せいろう>

今から1400、1500年前、土器の底へ故意に穴をあけて焼いたコシキ（蒸し器）があります。学説によれば米を蒸かすに使用したものだと言う。おそらくこれがセイロウの最初のものであろう。それから江戸時代、明治、大正、昭和と使われたのが桶形の丸セイロウ、重ねセイロウと、いずれも榎さわらの木で作られ、お米をたいたり、赤飯を蒸かしたりと。もち米4升（6Kg）ぐらい蒸かせる大きなものから、金属製の小型になって1升（1.5Kg）ほどになり、団地住まいに適した大きさのもっと小形のサイズになっていきました。現代ではまた、小形のセイロウが流行り、蒸し野菜などに使われているようです。

小川守人著『箕輪の磊々』より



## 資料紹介

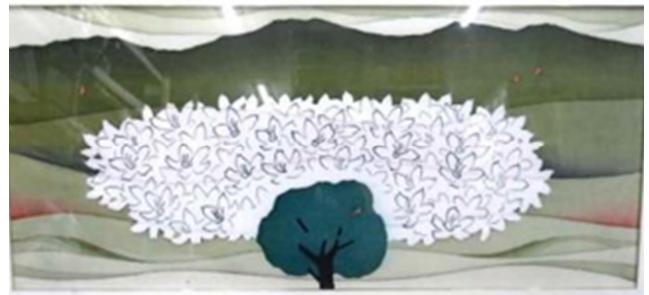


箕輪町郷土博物館では、季節ごとのミニ展示や特別展・企画展などで様々な資料を展示します。是非お気軽にご来館ください！



### 春を描く

美術展示室で5月まで



### ふきはら 「露原春景」 小林一博

箕輪町の文化センターの<sup>どんちよう</sup>緞帳になっている絵です。町の花の「イワヤマツツジ」と町の木の「ケヤキ」と町の鳥の「キセキレイ」が描かれたろうけつ染めです。



## 鉄道ミニ資料展

エントランスと民俗展示室で6月28日まで

### つうひょう 通票(タブレット)

さんかく・まる・しかくの穴が開いている、これは何に使うの??



単線の飯田線で、列車が衝突しないよう、その区間を通る列車が持った通行票です。たとえば、AとBの間は●型、BとCの間は▲と決まっています、A駅で●型を受け取った列車はB駅でおくというような使い方をしていました。キャリア(バック)はこの通票(タブレット)を運びやすくしたのもです。



## 春の博物館イベントのお知らせ！！



博物館では、春のイベントを開催する予定です！

詳細は新聞、広報紙、みのわメイト等でお知らせしますので、ぜひご覧ください。

★どのイベントも参加無料です。みんなあそびにきてね★



### ●探鳥会 5月16日(土) 午前6時30分～8時30分 ながた荘周辺



早起きをして、鳥の観察を試みよう！鳥の事を知らなくても大丈夫！鳥のさえずりに耳を傾けてみませんか！



### ●電気機関車ふれあいデー

5月5日(火・祝日) 午前9時～午後3時 博物館にて



世界に一台しかない「ED19-1」の内部公開や、汽笛を鳴らす体験をしています！

鉄道資料もたくさん展示しています。



### ●企画展「物語を描く」

6月13日(土)～7月20日(月・祝)

郷土作家が描いた物語の世界をのぞいてみませんか！

博物館の美術展示室で開催します。

どんな物語を描いているかお楽しみに！！



## 箕輪学クイズに挑戦！！



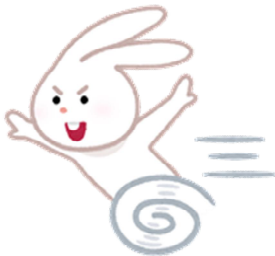
(1) 上伊那を米どころにした西天竜用水。この水田を作る工事は

昭和何年から始まったでしょう？

- ①昭和3年      ②昭和4年      ③昭和5年

(2) この写真の道はどこの道でしょう？

- ①役場の前の坂道      ②長岡の三寿院の坂道  
③十沢地藏尊がある十沢の坂道



(3) 箕輪の方言で「はすっこい」ってどういう意味？

- ①こいのなかま      ②はじをあるく      ③すばやいうごき



○ こたえ ○

(1) ① 西天竜の開田工事は、昭和3年から始まり昭和14年に完了しました。多くの水田ができ、たくさんのお米がとれるようになりました。

(2) ③ 十沢（戸沢）の坂道です。現在とはどう変わったでしょう？箕輪町の道も昔と変わり整備され、町全体が発展していきました。



(3) ③ 動作や行動が早い事を「はすっこい」といいます。

お問い合わせは、とあ博物館まで はくぶつかん TEL 79-4860

発行元：箕輪町郷土博物館